

## 第16回桑名市地域自立支援協議会

日時：平成31年3月19日（火）

14:00～

場所：くわなメディアライヴ 2階第一会議室

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 委員長、副委員長の選任について

委員長は三重短期大学 教授 長友薫輝様

副委員長は障害者サービス事業所連絡協議会会長 田上 了様

#### (2) 障害者計画の進捗状況について

委員：去年、事前送付の資料にパワーポイントの資料は欲しいとお願いした。また話合いの時間が1番大切だと思うが、報告が終わった時点で会議開始からすでに45分たっている。会議の時間配分を考えてほしい。

委員：手帳所持者数について、重複障害の子はどのようにカウントしているのか。

事務局：国の報告に基づいた形でカウントしている。詳しいカウントの仕方はお調べしてお伝えさせてもらう。

委員：資料3について

効果的な啓発は以前も広報などで言っているが、他にはないのか。資料だけだと見ない人は見ない。行事の計画はどうなっているのか。

スポーツ大会は一般市民との交流になっているが作業所の方等が多い。

団体の活動内容については、もっとよく知ってほしい。

発達検査の予約が数か月先まで取れない、何とかして解決してほしい。

P6 各課との連携の具体例はどのようなものか。どこの民間と連携するのか。

P7 幼稚園の訪問回数と内容はどのようなものか。

P8 いつまでに構築するのか。具体的に期日を決めて答えてほしい。

委員：資料3について

課題があいまいで終わっていることが多い。

具体的な内容が見えてこない。

ホームページをろうあ者が読み取れないときの対応について、手話動画をあげる等の対応をしてほしい。

- 市民ホール活動料がかかる。活動しやすい場を提供してほしい。
- おもいやり駐車場について、営業の人がとまっている。警備員さんに言ったがきちんと対応してもらえなかった。見やすい看板をもうけると良いのではないか。
- 課題と実施計画のつながりが分かりにくい、課題をどうしたらいいのかがわからない。
- P3 桑名駅前ライオンズマンションのところに点字ブロックがない。  
社協ボランティアセンターを紹介したとあるが、どのようにしたのか。情報発信が必要ではないのか。
- P6 とぎれない支援体制づくりの乳幼児とは何歳のことなのか。早期に適切な関係へつなぐとはいつのことなのか。
- P9 救急医療体制の整備について、聴覚障害者への対応はどのようになっているのか。電話できない人にどう対応するのか。
- P11 交通バリアフリー化の促進について、電車がとまっている等電子掲示板で聴覚のひとにもわかるようにしてほしい。養成講座をしても支援者が増えていない現実がある。
- P12 災害情報の提供について、文字がわからない方にどう対応するか教えてほしい。
- P13 職員対応要領を見てみたい。
- P16 障害者雇用について、仕事をしていくうえでの不便さがないが、差別はないか。配慮を考えてほしい。

### (3) 放課後等デイサービス事業所訪問活動について

委員：ガイドランスの基準に従って開所をしているとおもうが、どうしてそんなに課題がでてくるのか。開所するときにもう少しきちんとみると良いのではないか。

事務局：事業所の指定や認可は県がしている。規定を満たしているかどうか確認をしている。

委員：あまり良くない事業所があるのでは。形だけでなく中身をきちんと見て欲しい。そうでないと危険性が高まるのではないか。

事務局：県も監査できちんとできているかどうかは見ていく。サービスの質を確保するために、研修の場等を設けていく。

委員長：横の連携やサービスの質の向上が全国的な課題となっている。

委員：親は事業所の中身を知らずに子どもを預ける。それでは不安。預ける親の身になって考えてほしい。報酬が上がることで質の良い人が集まるということもあるのでは。

委員長：子どもの状態が安定していれば良いという考え方もある。立場によって求めるものが違う。

委員：けんかや虐待ということはないのか。

事務局：利用者同士のトラブルはある。苦情対応窓口、第3者委員へ相談してきちんと対応している。

### 3. その他

事務局：第3期障害者計画が平成32年度末をもって期限を迎える。来年度から2年間かけて協議していきたい。

委員長：委員からの質問には事務局から誠意をもって回答をお願いしたい。

委員：資料3 P16 法定雇用率を上回ったとあるが、身体・精神・知的で何人なのか。

事務局：障害者雇用は身体障害者のみであり、人数についてはわからない。

以上